

「働き方改革」セミナー



WORK SMILE LABO
「働く」に笑顔を!

テレワークが
日本の中小企業を元気にする!



1.会社概要



会社名

株式会社 石井事務機センター

所在地

岡山県岡山市南区福浜町15-10

設立

明治44年(1911年)創業

従業員

29名(女性15名,男性14名)

経営理念

「働く」に笑顔を！

業種

笑顔溢れるワークスタイル創造提案業



ホームページ二次元コード



フェイスブック二次元コード



1.会社概要

私たちは、もともと筆や墨の販売で創業し、時代の流れと共に近年はオフィス家具・OA機器の販売を中心とした地域の事務機屋でした。

数年前に他社との差別化をするにあたり、お客様に「より良いワークスタイルを提案する」会社になるために我々の業種を

『笑顔溢れるワークスタイル創造提案業』

と変えました。

中小企業へより良い働き方を提供するにあたり、まずは**自社の働き方における様々な課題を解決することで、お客様へノウハウを含めたご提案**を行っております。

2.きっかけ



WORK SMILE LABO
「働く」に笑顔を!

地方の中小企業がなぜ、テレワークを始めたのか？

- 小さな子供のいるパート社員が、以前は子供の急な病気で休むことが多かった。
- 休む方も・休まれる方も双方に負担があったことがキッカケ。

少ない人数で運営している中小企業では、代わりの人材がおらず、業務へ与える影響は大きいことが実状。

2.きっかけ



口には出しませんが、お互いこんな風感じていました



休む側

- 急な欠勤で会社や仲間に迷惑をかけるのが心苦しい
- 休んだ分、収入が減る

休まれる側

- 一人当たりの仕事量や負担が増え、残業が発生する



3.導入効果（仕事とプライベートの両立）

●子供による急な休みに対応できるようになった



+の効果

- 1 出退勤時間が無くなり、尚且つ仕事の合間の休憩時間に家事を行うことができ、生活にゆとりが生まれた。
- 2 社内と同じ環境で仕事が出来ながら、電話対応・来客対応が無い分、専門業務の生産性が向上した。

3.導入効果（生産性の推移（昨対））

全社員テレワーク活用による生産性の向上（残業時間の削減）

一人平均の残業時間（昨対）

業績の推移（昨対）

【昨年6月】内勤メンバーへのテレワーク導入

昨年2月:41.7時間/人

今年2月:18.9時間/人

54.7%減

売上81.90% / 粗利127.9%

昨年3月:48.4時間/人

今年3月:23.5時間/人

51.5%減

売上87.10% / 粗利96.90%

昨年4月:56.6時間/人

今年4月:26.2時間/人

53.8%減

売上115.2% / 粗利114.1%

昨年5月:33.8時間/人

今年5月:22.3時間/人

34.1%減

売上110.9% / 粗利114.9%

【今年6月】外勤メンバー含む、全社員へのテレワーク導入

昨年6月:40.3時間/人

今年6月:17.6時間/人

56.4%減

売上117.8% / 粗利119.7%

昨年7月:39.7時間/人

今年7月:15.7時間/人

60.5%減

売上111.0% / 粗利115.1%

上期累計(昨対)

残業51.8%減 / 売上106.7% / 粗利117.6%

4. その他の導入効果（企業イメージの向上）

1 2016.11.28
総務省「**テレワーク先駆者百選**」受賞

2 地元メディアへ取り上げられることが
増え、**企業イメージが向上**

新聞

7回

テレビ

10回

情報誌

4回

平成29年1月～現在

4. その他の導入効果（採用）



③ 採用力の向上（中途採用）

求人票に『在宅勤務可』と一文あるだけで、
応募者数が向上。

さらに、優秀な人財からの応募も増えた。

5.課題と克服



WORK SMILE LABO
「働く」に笑顔を!

テレワーク導入におけるポイントは

- 仕事を単に社外に持ち出して行うことではない
- ➡いかに職場と同じ環境を会社外で整えられるかが重要

テレワーク導入への3つの課題

労務
管理

コミュニ
ケーション

情報
セキュリティ

5.課題と克服

労務管理

● 出退勤をクラウド管理

コスト:300円/人



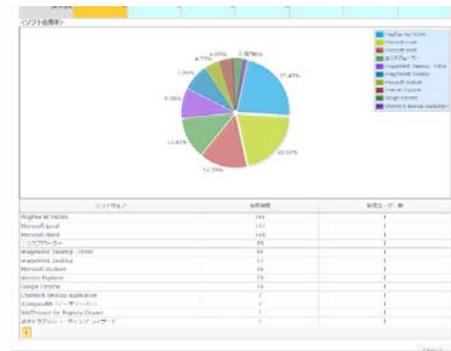
➔ 携帯で操作ができる

➔ 出勤退勤時の位置情報が確認できる

KING OF TIME使用

● PCログ管理システム

コスト:10,000円(月額)



➔ 作業時間・作業内容の見える化

Ahkun AutoDaily使用

5. 課題と克服

コミュニケーション

● Web会議システムを活用

コスト:10,000円(月額)



- ➔ 社内テレビを設置して、テレワーク勤務者と常時接続
- ➔ マイク・スピーカーで社内と会話
- ➔ 複雑なやりとりも画面共有で解決
- ➔ 会議にも参加

WebEX使用

5. 課題と克服

情報セキュリティ

● 情報の一元管理と統合セキュリティ対策 コスト: 30,000円(月額)



➔ 社内データは全て共有サーバーで管理

➔ 社内のセキュリティレベルを高める
(ネットワークセキュリティ対策)

➔ クライアントPCの集中管理
(作業の見える化・操作制御)

➔ 外部からのリモートアクセス

U T M / リモートアクセスVPN / Ahkun AutoDaily使用

6. 中小企業のテレワーク導入のポイント



WORK SMILE LABO
「働く」に笑顔を!

1 中小企業は、自社システムを開発する資金や、運用の人材を確保することが難しい。

➔ 既存の商材やサービスを活用し、コスト面や導入面のハードルを下げる。



➔ 運用面は社内ルールを作り、不足している部分を補う。

2 いかに社内にテレワークの活用をしてもらうか

➔ テレワーク活用による生産性の向上を評価する

テレワークの活用と評価制度の連動

6.テレワークと中小企業



WORK SMILE LABO
「働く」に笑顔を!

地方の中小企業こそ、テレワークを実践すべき

なぜなら、

多くの中小企業が直面している「経営課題」を解決できる

採用力
向上

生産性
向上

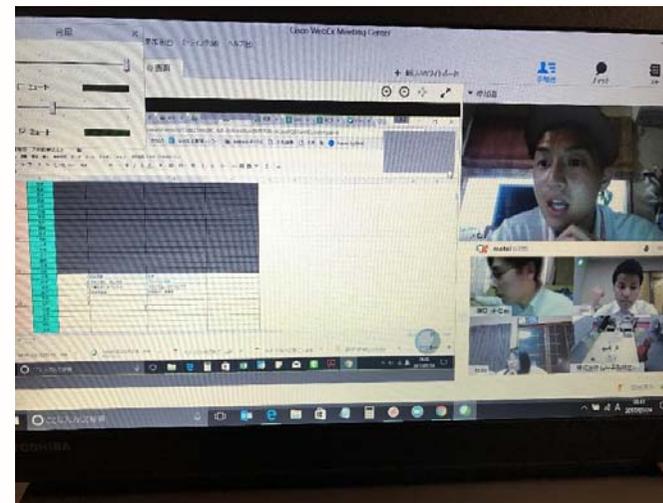
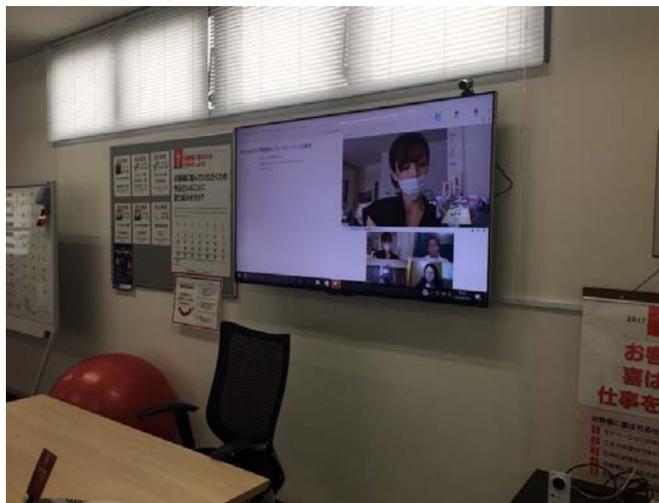
残業
問題

育休
産休

介護

6.テレワークと中小企業

日本の**99.7%**が中小企業。
日本中の中小企業がテレワークを活用することで、
日本全体の活性化に繋げることが出来ると考えて
おります。



7.その他（今後の取り組み）

① 共有型サテライトオフィス開設



地方の場合、車通勤が主流

1時間圏内が通勤可能圏内

実状

→ 会社があっても労働者がいない

実状

→ 「地方」の「さらに地方」は深刻な人手不足

7.その他（今後の取り組み）



WORK SMILE LABO
「働く」に笑顔を!

そこで

テレワークを活用した共有型オフィスを中核都市に設置することで

「地方」の「さらに地方」の企業の採用力の格差を埋めることが出来る

「地方」の「さらに地方」の採用問題を解決するために、テレワークを活用していく。